



フィルムコミッションと地域振興

時田 英明（ときた ひであき）

北海道企画振興部地域政策課主査

1 フィルムコミッション（FC）とは

「フィルムコミッション（FC）」という言葉は一般的にはまだまだ知られていない言葉であると思いますが、映画やTVドラマなどの映像制作者や地方自治体においては、すでに浸透している言葉となっています。「フィルムコミッション」は、映画やTVドラマ、CMなどのロケーション撮影を円滑に進めるための様々な支援や誘致を行う非営利の組織です。全国フィルムコミッション連絡協議会では、フィルムコミッションの基本要件として、①中立的な公的機関が関与していること（国内のFCは地方自治体、観光協会、コンベンションビューロー、商工会議所、NPOに設置している場合が多い）、②ワンストップサービスの提供（総合的な窓口機能）、③作品を拒まない（内

容によるえり好みをしていない）をあげています。

フィルムコミッションは、欧米を中心に世界31カ国に約300の団体が組織されています。日本においても、この3年ほどでフィルムコミッションの設立が相次ぎ、全国フィルムコミッション連絡協議会には72のフィルムコミッションが加盟しています。（平成16年11月10日現在）

2 「北海道ロケーションサービス」について

北海道では、平成13年4月にフィルムコミッション業務の窓口として「北海道ロケーションサービス」を設置し、ロケーション撮影に関する様々な相談に応じています。主な業務内容は次のとおりです。

1) 道内のロケーションに関する情報提供

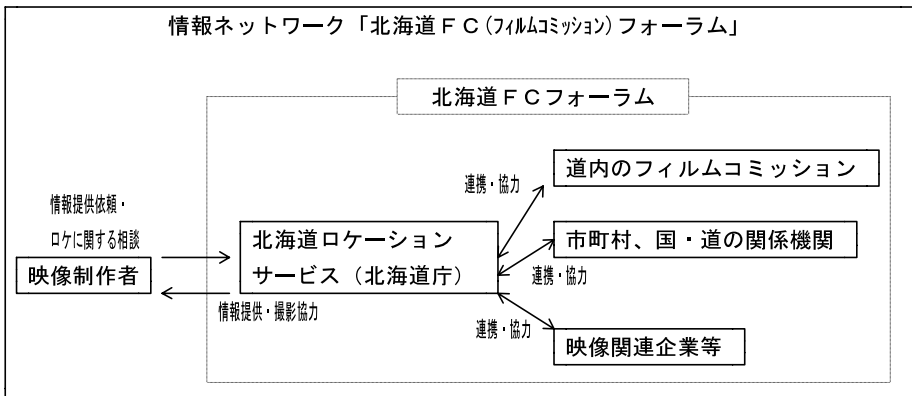
映像制作者からロケ地情報の提供依頼があった場合は、イメージに合うロケ地を探しその情報を提供します。また、ロケ地情報だけではなく宿泊施設・映像関連事業者などロケ関連情報の提供も行っています。

映像制作者からは、「特徴のあるお薦めの温泉」「紅葉がきれいな山あいの直線道路」「背後に港の見える住宅街」など様々な問い合わせや相談が寄せられています。北海道は面積が広いので、広域的な（複数の市町村にまたがる）情報については、「北海道ロケーションサービス」が北海道の窓口となり、道内のフィルムコミッション

や市町村、国・道の行政機関、映像関連企業等とのネットワーク「北海道フィルムコミッション・フォーラム」を通じて道内のロケーション情報の収集を行います。なお、個別のフィルムコミッションが対応する方が適切な場合は、そのフィルムコミッションへの橋渡しを行います。

2) 北海道有施設の撮影に関する相談及び調整

道有施設では赤レンガ庁舎前庭や知事公館裏庭が撮影場所として使用される場合が多く、この二ヶ所については、「北海道ロケーションサービス」経由で撮影許可の申請を行うことができます。また、北海道開拓記念館などの道



有施設については、施設の管理者が撮影許可を出すこととなりますので、「北海道ロケーションサービス」では申請窓口や申請方法の紹介、道有施設との連絡調整を行っています。



「にほんごであそぼ」の収録
(NHK教育、神田山陽氏、赤れんが庁舎前庭、H16 9)

3) 市町村等公共施設の撮影に関する情報提供

市町村等公共施設の撮影については、施設の管理者が撮影許可を出すこととなりますので、「北海道ロケーションサービス」では申請窓口や申請方法の紹介、市町村又は施設との連絡調整を行っています。

4) 警察、消防への撮影許可手続きに関する情報提供

「北海道ロケーションサービス」で

は、警察、消防への撮影許可手続きの代行はしておりませんが、撮影許可手続きの窓口や申請の方法に関する情報提供を行っています。

5) ロケ誘致に向けた情報発信やロケ環境づくり

北海道を舞台とするロケーションを誘致するためホームページやパンフレットによる情報発信を行っています。また、フィルムコミッションの設立促進及びロケーション撮影に関する道民理解の促進に向けたセミナー等の開催を行っています。

3 「北海道ロケーションサービス」のロケーション撮影支援の状況

平成13年4月に道が「北海道ロケーションサービス」としてフィルムコミッション活動を開始して以来、この3年間で映画・テレビ番組、CMなどの撮影に関する問い合わせが387件、このうち撮影が行われたものは185件となっており、年々増加しています。

16年度に北海道でロケ撮影が行われた映画は、夕張市や静内町など道内各地で大規模なロケーションが行われた

北海道でロケーション撮影が行われた映画作品

年度	作 品 名	撮影会社名等	主な撮影地	主な出演者
13	刑務所の中	(株)ビーワイルド	網走市	山崎努
	スパイ・ゾルゲ	(株)表現社	網走市	小雪
	パコダテ人	(株)ビデオプランニング	函館市	大泉洋、宮崎あおい
14	星に願いを	オメガピクチャーズ(株)	函館市、七飯町	竹内結子、吉沢悠
	女はバス停で服を着替えた	鹿追映画製作実行委員会	鹿追町	戸田菜穂
	ミラーを拭く男	(株)パル企画	函館市、真狩村、稚内市、室蘭市、伊達市、洞爺村、鶴川町、門別町	緒方拳
	女理髪師の恋	パルミラムーン	登別市、白老町	竹中直人、荻野目慶子
15	river	(株)インデックスコア	札幌市、小樽市、石狩市、夕張市、増毛町	大泉洋、安田顕
	天国の本屋～恋火	松竹(株)	小樽市、石狩市、増毛町、室蘭市、江別市、天塩町	竹内結子、玉山鉄二、原田芳雄
	雨鱈の川	ミコット・エンド・パサラ 近代映画協会	栗山町、当別町、置戸町、平取町、鶴川町、門別町、穂別町、美瑛町	玉木宏、綾瀬はるか、中谷美紀、阿部寛、柄本明
	フリック	モンキータウンプロダクション	苫小牧市	香川照之、田辺誠一、大塚寧々
	銀のエンゼル	プログレシブピクチャーズ(株)	斜里町	小日向文世、大泉洋
	新しい風	映画「新しい風」製作委員会	更別村、大樹町、石狩市、当別町	北村一輝、富田靖子、風間トオル
16	海猫	東映(株)	南茅部町、函館市	伊東美咲、佐藤浩市
	北の零年	東映(株)	夕張市、静内町、浦河町、浦幌町	吉永小百合、渡辺謙、豊川悦司
	着信アリ 2	角川映画(株)	夕張市、三笠市	ミムラ、吉沢悠、瀬戸朝香

「北の零年」、夕張市や三笠市の炭鉱施設でロケーションが行われた「着信アリ2」、南茅部町、函館市でロケーションが行われた「海猫」などがあります。

4 道内のフィルムコミッションについて

道内においては、「北海道ロケーションサービス」など9つのフィルム

コミッションが設立されています。また、フィルムコミッションの設立を検討・研究している地域もあります。

道内のフィルムコミッションは自治体、コンベンションビューロー、観光協会、民間団体など設立母体も様々です。また、単独市町村のフィルムコミッションと広域フィルムコミッションの違いもあります。

フィルムコミッション名	事務局
北海道ロケーションサービス	北海道企画振興部地域政策課
オホーツク紋別フィルムコミッション	紋別市商工労働観光課
当別21夢倶楽部フィルムコミッション	当別21夢倶楽部
旭川地域フィルムコミッション支援団体連絡会	旭川コンベンションビューロー
小樽フィルムコミッション	小樽市観光振興室
さっぽろフィルムコミッション	(財)札幌国際プラザ
後志広域フィルムコミッション連絡協議会	小樽市観光振興室
はこだてフィルムコミッション	函館市観光課
とかちフィルムコミッション連絡協議会	(社)帯広観光コンベンション協会

5 ロケーション撮影の支援・誘致による地域への効果

ロケーション撮影の支援・誘致による地域への効果は直接・間接の経済効果のほか、知名度の向上、文化振興・交流促進など地域振興に結びつく効果などが期待されます。

1) 地域への経済的な効果

地域における経済的な効果には、ロケ隊スタッフの宿泊・飲食による経済効果や映像関連産業への経済効果があげられます。

道では、平成14年度にロケーション撮影による経済効果の推計を行っています。ロケが行われた場合、宿泊、食

事、車両、機材などの経費のほか、列車内撮影の車両貸切料、大道具・小道具の建設・作製・材料費、美術費、エキストラ謝金など様々な経費も発生します。映画やテレビドラマのロケなど、多人数で長期間の契約を結ぶ場合には、宿泊費と食費は単価が低くなるケースが多く見られます。

また、道内には「企画・演出・制作」「撮影関係」「関連機材・照明」「美術」など様々な映像関係業者があり、ロケ撮影件数の増加は映像関連産業の振興に結びつくことが期待されます。

観光面においても、テレビドラマ「北の国から」の舞台となった富良野市はロケ地として全国的に知名度を上げたほか、映画「LOVE LETTER」の舞台となった小樽市は韓国からの観光客が急増するなど、観光振興に結びついた事例も見られます。

しかし、映像制作者は地域における経済効果や観光振興を目的に撮影をしているのではなく、良い作品を作るため、イメージに合うロケーションを探し、撮影を行うことを本来の目的としているので、経済効果を過大に期待することは望ましいことではありません。

観光振興についても、ロケ地となったことで直ちに観光地になるのではなく、長年の取組が観光振興に結びつくケースがあると言えます。

2) 地域づくりへの様々な効果

ロケ誘致活動は経済効果以外にも様々な効果があります。

例えば、ロケが行われるのは地元では当たり前風景として見過ごされがちな場所が多く、映像の舞台に地域のロケーションが取り上げられることで、これまで気づけなかった自分たちのまちの魅力を再発見することがあります。

平成15年8月に栗山町、美瑛町、当別町など道内13市町村でロケーションが行われた映画「雨鱒の川」が、昨年10月に北海道で先行上映されましたが、この映画では北海道の美しい自然や風景などがロケーションの舞台となりました。主人公の少年時代の家のある丘（置戸町）は地元の人も知らなかったきれいな場所が使われました。

また、エキストラ参加などのロケ協力を通じ、映画関係者と地域住民の交流や地域住民同士の交流が行われると、地域の活性化につながることもあります。映画「雨鱒の川」では、当別町で、

小学校の校舎を使ったロケに地元の子供たちがエキストラとして参加したり、お祭りのシーンに子供たちと家族が一緒に出演し、多くの町民の方々が映画づくりをバックアップしました。撮影に関わることで地域全体が盛り上がり、地域への想いや住民同士のつながりが深まったようです。栗山町では、ヒロインの家である「昔ながらの蔵が連なる少し大きめの造り酒屋」として小林酒造の酒蔵と家屋がロケ地となりました。この酒蔵は歴史的建造物でもあり、地域資源のPRにもなりました。また、スタッフや出演者と地元の方々との交流も行われました。

ロケーション撮影の支援・誘致は、経済的な効果以上に、地域の魅力再発見や地域コミュニティの再興といった地域づくりという観点での効果が大き



「天国の本屋～恋火」(篠松竹)の
ロケに使われた増毛町の海岸(H15.8)

いと思います。

6 フィルムコミッションの課題

ロケ撮影を円滑に進めるためには地域の方々の理解と協力が欠かせません。例えば、ロケ撮影は学校や病院といった施設や個人所有の建物など様々な場所で行われますが、地域の協力があるてはじめてロケ場所として使用できます。エキストラや炊き出しが必要な場合も地域の協力が必要です。フィルムコミッションは映像制作者と地域との調整役としての機能が求められますが、まず、地域の方々にフィルムコミッションの意義や効果などを知っていたくことが重要ですので、地域住民の理解を得るための意識啓発に努めることが必要です。

また、ロケ撮影の場所によっては様々な規制があり、撮影が困難な場合もあります。例えば、道路で撮影する場合に、交通量の多い都市部の道路では警察の道路使用許可が下りないケースが多い状況にあります。地域全体が映画づくりのサポーターとなる機運を高めることが、道路使用をはじめとする様々な規制の緩和につながっていく

ものと思います。

最後に、国内ではこの3年ほどで72を超えるフィルムコミッションが設立されており、今後は他の地域との差別化をいかに図っていくかが重要な課題となります。北海道は面積が広く、映像制作者からは広域的な情報を求められるケースが多いので、道内のフィルムコミッションや市町村など関係機関との連携強化を図り、北海道全体としての対応が可能であることをPRしていくことも必要です。

北海道は雄大な自然や四季折々の豊かな風景をはじめとする映像資源の宝庫であり、まだまだ埋もれているものも含めてこれらを活用することにより、地域の魅力をPRするフィルムコミッションの取組は地域再生のきっかけをつかむ可能性のある取組となるものと思います。